



ジャンプスターター・モバイル電源

型番 (A1・A5・A10) シリーズ

2022年12月更新 K&Mサービス株式会社

一、製品概要

もしも、お車のバッテリーが上がってしまった時、一時的に電力を供給して、エンジンを始動させることができるモバイルバッテリーのような商品です！クルマに常備すると便利！電動空気入れ、ジャンプスターター、LEDライト、モバイルバッテリーなどの機能搭載。

外出先でスマホやタブレットなどを充電するのに便利な、持ち運びできる充電器です。繰り返し充電して使えるバッテリーを内蔵しており、コンセントのない場所でも給電できるのが特徴。モバイルデバイスを持ち歩く機会の多い方にとっては、外出時の必須アイテムと言えます。



セット内容はモデル型番により違うので、各商品ページにご確認ください。

ジャンプスターター本体

ブースターケーブル (ショート防止設計)

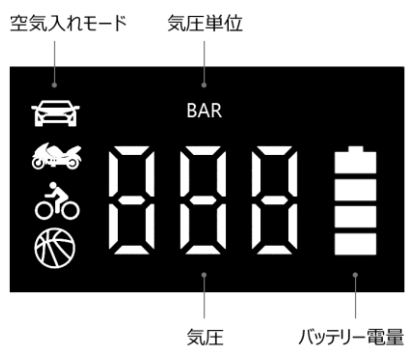
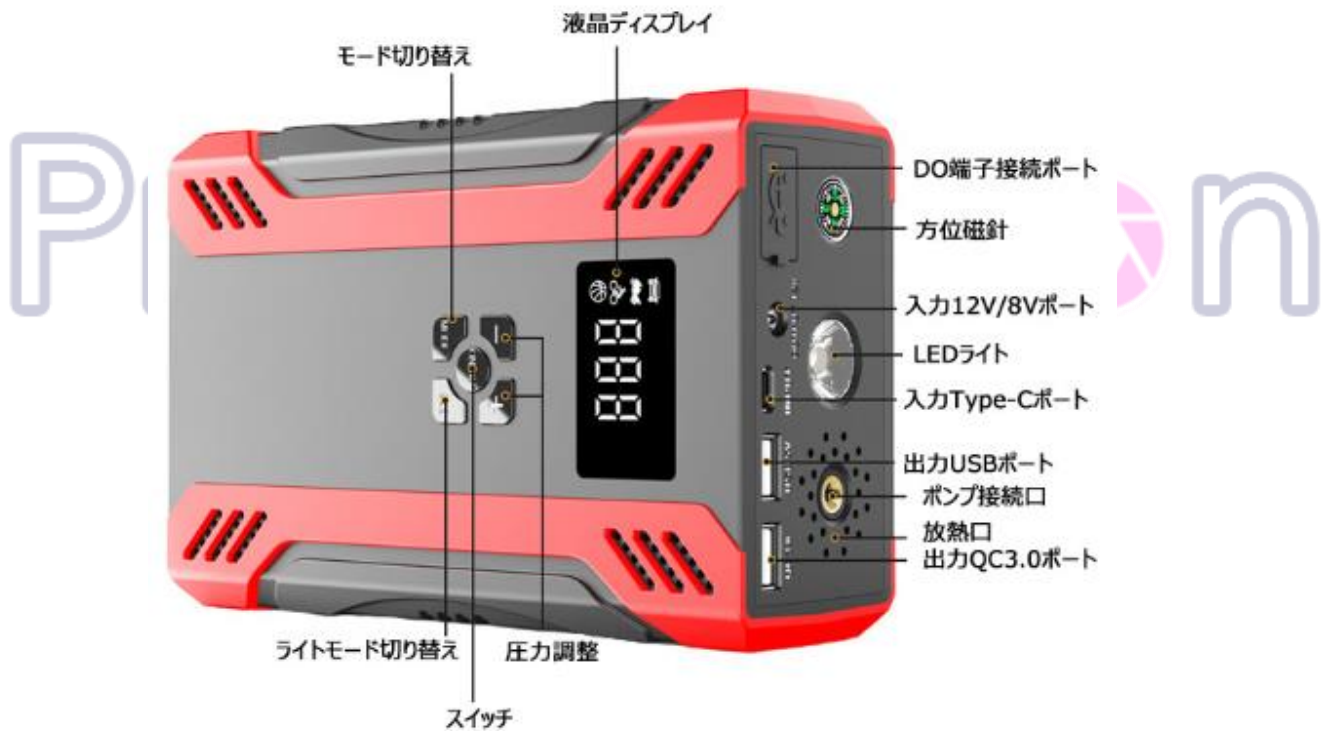
Type-C USB充電ケーブル

シガーソケットのカーチャージャー : A10のみ

空気入れセット : A1のみ



二、各部名称



三、バッテリー上がりの時（12Vの車両のみ対応）

12000mAhの大容量、800Aのピーク電流で、6Lのガソリン車、3.0Lディーゼル車に対応しております。1回の充電で数回まで車を始動できます。また、車だけではなくオートバイ、キャンピングカー、モーターボート、草刈機、軽トラなどにも適用です。

使用方法

4ステップの簡単操作

01/
バッテリークリップを充電ポートに接続します。(写真はDO端子を使用)



02/
赤いクリップを車のバッテリーのプラス(+)、黒いクリップをマイナス(-)に接続します。



03/
エンジンを掛けます。(ハイブリッド車で掛からない場合は15分程経ってからエンジンを掛けてください。)



04/
エンジンが掛かり、車が始動したら、バッテリークリップを取り外して操作を完了します。



ブースターケーブルのインジケータランプについて
本体にクリップを差し込むとランプがレッドとグリーンに交互に点滅します。
レッド一色になるとエラーなので、クリップ（赤→黒）という手順で再度接続してみてください。
グリーン一色になったら、お車を起動することができます。
ハイブリッド車が起動できない場合、接続して2分ほど経ってから起動してみてください。

バッテリーの種類により、直結でエラーが発生する場合があります。
対策としては、バッテリーのマイナス（-）端子の配線を外して、赤クリップを（+）配線に、黒クリップを（-）配線に繋がっていただければ、エラーが発生しない場合があります。

長期間放置された車については、過放電で起動できない場合がありますので、車の業者をお願いいたします。



四、LEDライト・モバイル電源機能

本製品の充電入力・給電出力情報については、各商品のスペックをご参照ください。

緊急災害時の電源確保や懐中電灯としても役に立ちます。

スマホ・タブレット・カメラ・ゲーム機などに充電するのは、これ1つでオールマイティーに使えます。

LEDライトの使い方

- ・A1 電源スイッチ→SOSボタンを3秒長押しして常時点灯→1クリックSOS点滅→点滅→消灯
- ・A10 電源スイッチ→起動ボタンを3秒長押しして常時点灯→1クリック点滅→SOS点滅→消灯

※SOS点滅（SOS救難信号）とは、アルファベットのSOSをモールス信号で表したものです。

SOS救難信号は、非常時に言語を問わず世界共通で使用できる救難要請信号です。

Sは「・・・」、0は「---」です。従って救難信号SOSは次のようにモールス信号で表現します。

音の場合 プ プ プ（間隔をおく）プー プー プー（間隔をおく）プ プ プ

光の場合 短い点灯を3回（間隔をおく）長い点灯を3回（間隔をおく）短い点灯を3回

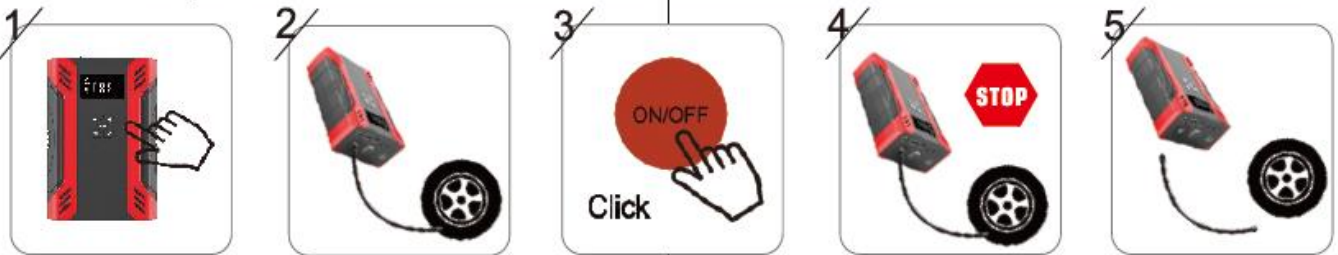
五、電動空気入れ

電源スイッチ→電源スイッチを3秒長押しして空気入れモード

MODEボタン（空気入れタイプ選択）→（自動車、バイク、自転車、ボール、+・-より微調整）

電源スイッチ（ON/OFF）を1クリックして、空気入れを開始・停止します。

Inflatable steps



六、注意事項

正常なご使用状態のもとで、保証期間内に無料で修理・交換させていただきます。

次の場合は、保証対象外となります。

- ①強い衝撃を与える故障。
- ②使用上の誤り、不当な扱いによる故障。
- ③水没、落下、そのた不可抗力などによる故障。
- ④充電中または可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ⑤空気入れ長時間の連続使用は、モーターの異常発熱など故障の原因となります。正常に使用するため、一回に5分間使用した後、電源を切って15分間冷やしてから再使用してください。